

■ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3167
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	当社のホームページ (http://tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/) に掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

(免責事項)

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますをご承知おきください。

■ ホームページのご案内

個人投資家向けIRサイトを新設いたしました。



TOKAIホールディングス

検索

<http://tokaiholdings.co.jp/>

株式会社TOKAIホールディングス

本 社 〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8



トータル・ライフ・コンシェルジュ
Total Life Concierge



TOKAIホールディングス

目 次

ご挨拶／株主の皆様へ	1
業績ハイライト	2
業績概況	3
財務諸表の要旨	4
セグメント別概況	5-6
特集：グループ主要事業のIP13後半の 最優先課題と戦略の方向性	7-8
トピックス	9
TOKAIグループの社会貢献活動	10
株主様アンケート結果のご報告	11
株主優待制度・配当政策について	12
会社概要／グループ会社紹介	13
株主の状況	14

株 主 通 信

第 2 期 第 2 四 半 期

2012年4月1日から2012年9月30日まで

【証券コード：3167】



増収増益を達成。 財務体質の強化も着実に進んでいます。

代表取締役社長 (CEO) 谷田 勝彦

はじめに
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、2012(平成24)年度第2四半期の株主通信をお届けさせていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
当社は、昨年4月の経営統合後に中期経営計画「Innovation Plan 2013」(3ヶ年計画)を策定し、最重要課題である「財務体質の改善」を進めておりますが、その中で2年目となる2012(平成24)年度の第2四半期決算を終え、ちょうど1年半が経過し、折り返し地点に立ちました。

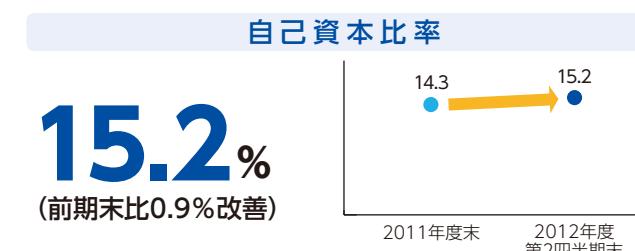
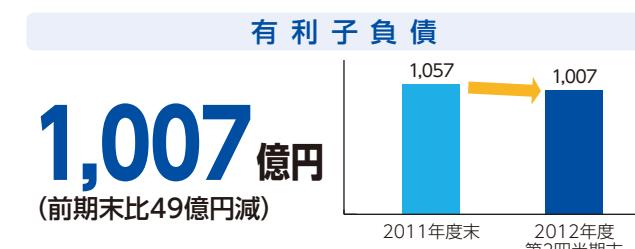
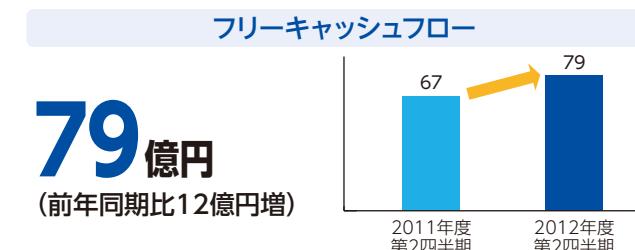
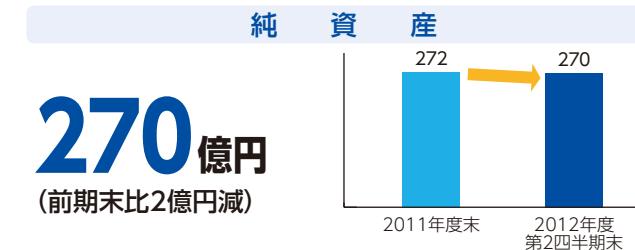
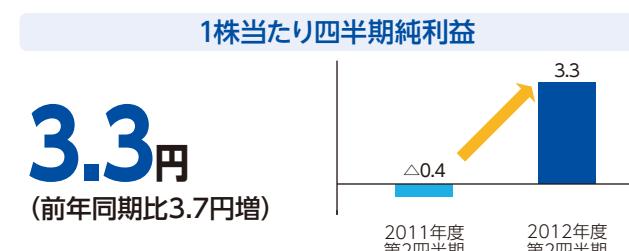
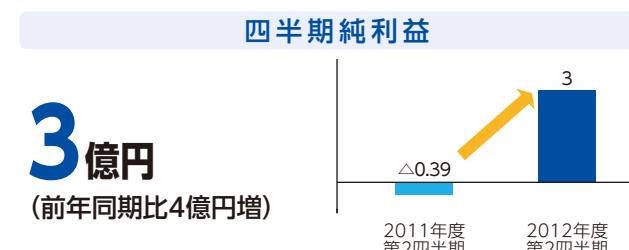
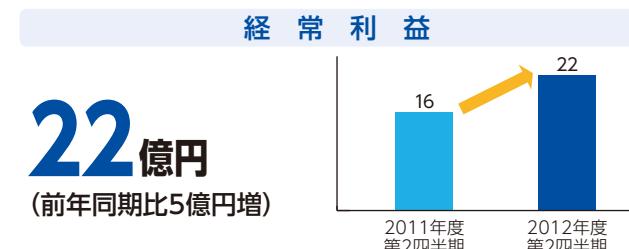
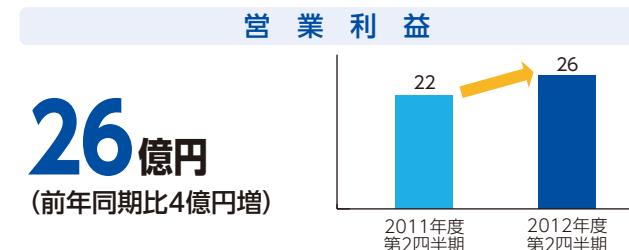
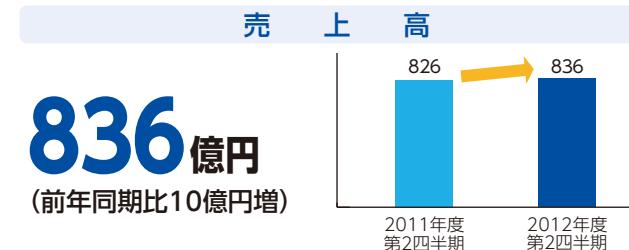
当第2四半期の業績及び中期経営計画の進捗
当第2四半期の業績は、情報通信事業やアクア事業において顧客件数が増加したことや、4月に開始した総合リフォーム事業が順調にスタートしたこと等により、前年同期に比べ増収増益となりました。
また、財務面における中期経営計画の進捗を申し上げますと、経営統合前に1,240億円あった有利子負債残高を3年間で1,000億円未満とする計画を打ち立てましたが、これに対し、当第2四半期末で既に1,007億円まで削減し、1年前倒しで計画を達成する見込みです。自己資本比率も経営統合前の7.7%から当第2四半期末には15.2%まで改善し、財務体質の強化が着実に図られています。

今後の事業展開について
これから中期経営計画の後半を迎えるにあたって、ガス事業はこれまで培った60万件以上の顧客基盤を活か

し、リフォームをはじめとする幅広いリテールサービスを展開します。情報通信事業は2013(平成25)年4月の岡山データセンター及び大阪～岡山までのネットワークの運用開始に向けた西日本エリアにおける営業強化と、ISP(インターネットサービスプロバイダ)の営業エリア拡大(東北エリア)を図ります。CATV事業は価格競争力で通信顧客を更に拡大するとともに、放送サービスでは地域と一体となった番組作り等に注力します。アクア事業は全国向けワンウェイサービスのブランド力・競争力を強化し、首都圏のマーケットに本格参入します。

株主様への利益還元について
当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけており、剰余金の配当については、経営体質の強化と将来の事業展開を考慮しつつ、株主の皆様への安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。
この方針に基づき、当期の中間配当金は、今年5月に公表の通り1株当たり6円(普通配当)とさせていただきます。また、期末配当金も1株当たり6円(同)とさせていただきます。これにより、普通配当は1株当たり10円*であった前年に比べ、2円増配となります。
6月末に新設した株主優待も好評でしたので、引き続き9月末の株主様を対象に実施してまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも倍日のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

*前期は普通配当に加え、記念配当2円がございました。



(注) 表示単位未満四捨五入

業績概況

経営成績の概況

売上高は、ガスの仕入コスト上昇分を価格転嫁したことや、情報通信事業（FTTHインターネット）とアクア事業における顧客件数増加、リフォーム事業（「TOKAI Willリフォーム」）の強化等により、836億円（前年同期比1.2%増）となりました。

営業利益は、FTTH及びアクアの顧客件数増加に加

え、LPガス事業の合理化・効率化等により26億円（同16.9%増）となりました。経常利益は支払利息の減少も寄与し22億円（同30.9%増）、四半期純利益は3億円（前年同期は39百万円の損失）となりました。

こうして、2012（平成24）年度第2四半期は、増収増益を達成しました。

財政状態の概況

営業活動により得られた資金が前年同期を10億円上回り、フリーキャッシュフローが前年同期を12億円上回る79億円となりました。この資金を有利子負債の返済等に充当した結果、当第2四半期末の有利子負債

残高は前期末（2012（平成24）年3月末）の1,057億円から49億円削減し、1,007億円となりました。

また、自己資本比率につきましても前期末の14.3%から0.9%改善し、15.2%となりました。

リテール顧客件数の概況

当第2四半期末の顧客件数は240万5千件となりました。期首に比べ1万件減となりましたが、その要因は今年4月にグループ会社の熊谷ケーブルテレビの株式を譲渡したことによる影響が2万4千件あったためです。その影響を除いた実際の営業活動では1万4千件の増加で、情報通信系の固定ブロードバンド回線ADSL・FTTHが1万9千件、無線ブロードバンド回線LTEが7千件、アクアが5千件増加したことが寄与しました。

		(千件)			
		2012年度 期首	2012年度 第2四半期末	増減	
ガス	LPガス	596	582	△14	
	都市ガス	52	52	0	
	計	648	635	△14	
セキュリティ		20	20	0	
アクア		97	102	+5	
情報通信	ブロードバンド	ADSL	148	131	△16
		FTTH	573	609	+36
		計	721	740	+19
	LTE		27	34	+7
	ダイヤルアップ		10	11	0
	CATV	放送	542	506*2	△36
		通信	180	180*2	0
	モバイル		193	202	+9
計*1		1,649	1,648	△1	
合計		2,415	2,405	△10	

※1 情報通信計は、FTTH（ISP）とCATV通信（キャリア）の重複を除く。（注）千件未満四捨五入
 ※2 2012年4月の熊谷ケーブルテレビ（株）株式譲渡により、放送が20千件、通信が4千件減少。

通期の業績予想について

第2四半期は、営業利益、経常利益、四半期純利益が7月公表の数値を大きく上回りましたが、通期業績予想につきましては、下期に需要期を迎える主要のLPガス事業においてCP（Contract Price：サウジアラビア国石油会社であるサウジアラムコ社が決定するLPガス通告価格）や気温等、現段階で先行き不透明な要素が多いことから、7月公表の数値より修正を行いません。

売上高：1,872億円
 営業利益：80億円
 経常利益：68億円
 当期純利益：24億円

財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	2012年度 第2四半期	2011年度
		2012年9月30日現在	2012年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産		33,780	41,093
固定資産		137,988	142,470
有形固定資産		107,388	110,207
無形固定資産		15,797	17,266
投資その他の資産		14,803	14,995
繰延資産		145	171
資産合計		171,914	183,735
(負債の部)			
流動負債		84,552	85,179
固定負債		60,359	71,374
負債合計		144,911	156,553

(純資産の部)

株主資本		26,215	26,424
その他の包括利益累計額		△120	△149
新株予約権		327	327
少数株主持分		580	578
純資産合計		27,002	27,181
負債純資産合計		171,914	183,735

連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	2012年度 第2四半期	2011年度 第2四半期
		自2012年4月1日 至2012年9月30日	自2011年4月1日 至2011年9月30日
売上高		83,610	82,586
売上原価		51,757	51,321
売上総利益		31,852	31,264
販売費及び一般管理費		29,279	29,064
営業利益		2,573	2,200
営業外収益		466	515
営業外費用		883	1,069
経常利益		2,155	1,646
特別利益		23	205
特別損失		1,051	662
税金等調整前四半期純利益		1,126	1,189
法人税等		786	1,222
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)		339	△32
少数株主利益		8	6
四半期純利益又は四半期純損失(△)		331	△39

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

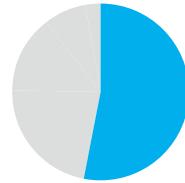
科目	期別	2012年度 第2四半期	2011年度 第2四半期
		自2012年4月1日 至2012年9月30日	自2011年4月1日 至2011年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		12,533	11,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		△4,657	△4,824
財務活動によるキャッシュ・フロー		△7,717	△10,283
現金及び現金同等物に係る換算差額		△5	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		153	△3,615
現金及び現金同等物の期首残高		2,432	8,141
現金及び現金同等物の四半期末残高		2,585	4,526

セグメント別概況

ガス・石油セグメント



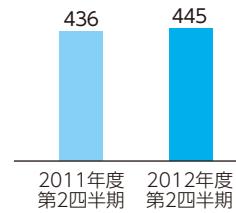
売上構成比
53.3%



事業概要

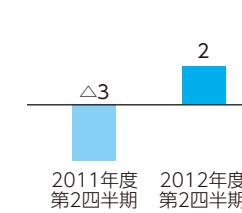
LPガス、都市ガス、太陽光発電等の環境エネルギー、飲料水の宅配、セキュリティ

売上高 (億円)



ガスの仕入コスト上昇分の転嫁やアクア事業の顧客件数増加により増収

営業利益 (億円)

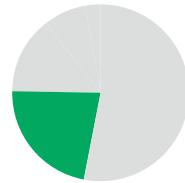


アクア事業の顧客件数増加、LPガス事業の合理化・効率化により増益

情報通信サービスセグメント



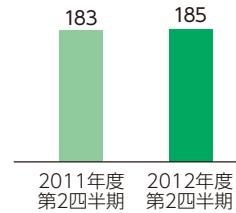
売上構成比
22.1%



事業概要

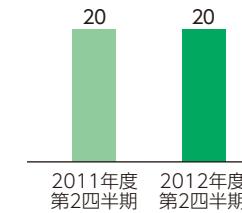
固定インターネットADSL・FTTH、無線インターネットLTE、ソフトウェア開発、データセンター、企業向け通信、モバイル

売上高 (億円)



ブロードバンドインターネットの顧客件数が順調に増加したことにより増収

営業利益 (億円)

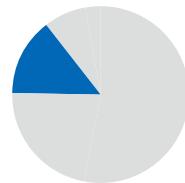


ブロードバンドインターネットの顧客件数が順調に増加したことにより増益

CATVセグメント



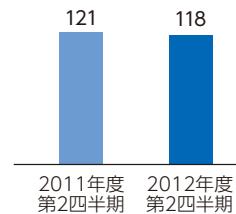
売上構成比
14.2%



事業概要

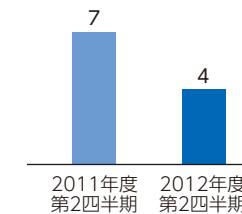
CATV放送、CATV/FTTH網によるインターネット

売上高 (億円)



4月にグループ会社の熊谷ケーブルテレビの株式を譲渡したことにより減収

営業利益 (億円)

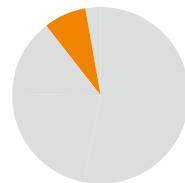


競合対策強化に伴う長期割引導入や、新規顧客開拓費用の一時的な増加により減益

建築・不動産セグメント



売上構成比
7.8%



事業概要

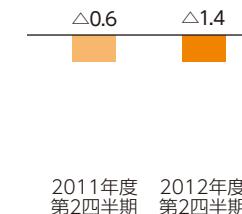
建築(住宅・マンション等)、設備機器、オフィス機器、不動産、ビル管理、リフォーム

売上高 (億円)



4月から開始した総合リフォーム「TOKAI WILLリフォーム」が順調にスタートしたことにより増収

営業利益 (億円)

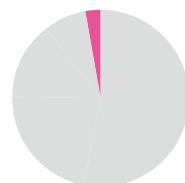


総合リフォーム「TOKAI Willリフォーム」強化に伴う営業費用増加により減益

その他セグメント



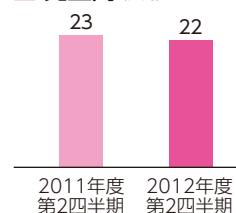
売上構成比
2.6%



事業概要

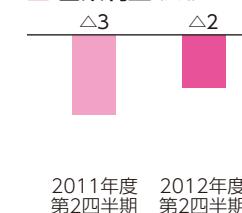
婚礼催事、介護、船舶修繕、保険

売上高 (億円)



介護事業は順調に推移したが、前期末に婚礼催事会場(ブケ東海沼津)を閉館した影響により減収

営業利益 (億円)



婚礼事業におけるブケ東海沼津の閉館に伴う経費減少や他会場の挙式組数増加等により増益改善

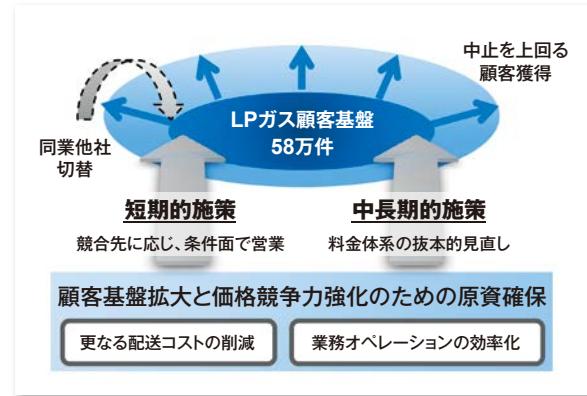
注1. 億円未満四捨五入(但し、前年同期比の1億円未満の数字及び建築・不動産セグメントの営業利益は千万円未満を四捨五入)
注2. 連結営業利益には、上記各セグメント利益の他、セグメント間取引に係る調整額が加わります。

■ LPガス事業：顧客件数の維持・拡大及びコスト削減

LPガス市場は成熟市場となっている中、当社は顧客件数58万件と全国3位という確固たる顧客基盤を有しています。この顧客基盤を活かし、太陽光発電なども手がける総合エネルギー事業へと事業領域を広げ、2012年度から総合リフォーム事業を開始し、順調に立ち上がってきています。

このLPガス事業の最優先課題は、収益基盤となる顧客件数の維持拡大です。新規顧客の獲得、価格競争力強化に必要な費用を賄うべく、更なるコスト削減や間接業務の効率化に取り組みます。

将来的には、顧客基盤の拡大にM&Aも視野に入れた展開を検討しています。更に、効率化については自社だけでなく、業務提携による協業も模索し、推進してまいります。



■ 情報通信事業：営業エリアを東西に拡大

【ISP事業】

9月末、ブロードバンド(固定・無線)の顧客件数は全国77万件へ拡大しました。ISP事業は、営業エリアを拡大し、更に顧客基盤を強固なものとするのが最優先課題と捉えており、このため東北エリアへ進出します。

関東で培った家電量販店での店頭販売ノウハウや大手通信事業者との協業体制を活かし、2012年度は東北エリアで1万件を獲得、2013年度以降の1億円/年の収益増につなげます。

【法人向け情報通信事業】

東日本大震災以降のBCP(事業継続計画)・DR(災害復旧)対策ニーズに対応すべく、岡山にデータセンターを構築中です。これを起点に、西日本エリアへ進出します。エリアを広げ、ストックビジネスの基盤を拡充し、収益力を強化することが最優先課題です。

この西日本への進出は、当社にとって今後の幅広い商品・サービスを展開する上で極めて重要なプロジェクトです。

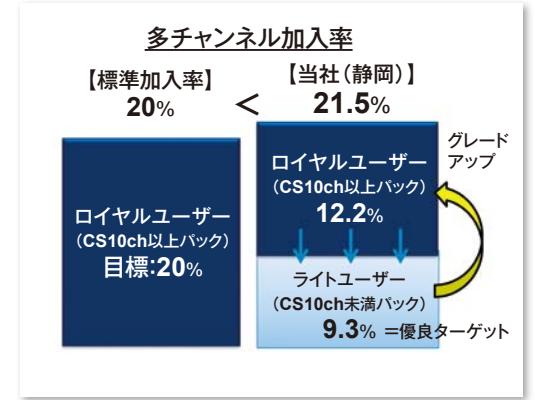


■ CATV事業：多チャンネル顧客のARPU向上

CATV市場は昨年の地上波デジタル移行に伴う市場環境の変化により、視聴者の有料多チャンネル放送に対する視聴スタイルが多様化するなど大きく変化しました。このような環境下、当社は放送顧客件数全国7位の51万件となっています。

CATV事業の最優先課題は、この51万件の過半数を占める静岡県内の優良顧客を早期に囲い込むことです。具体的には、多チャンネル番組の視聴者をライトユーザーからロイヤルユーザーへ押し上げる(グレードアップを図る)ことです。そのために、特に高齢者層やファミリー層に対して、ニーズに合ったサービスプランを提案してまいります。

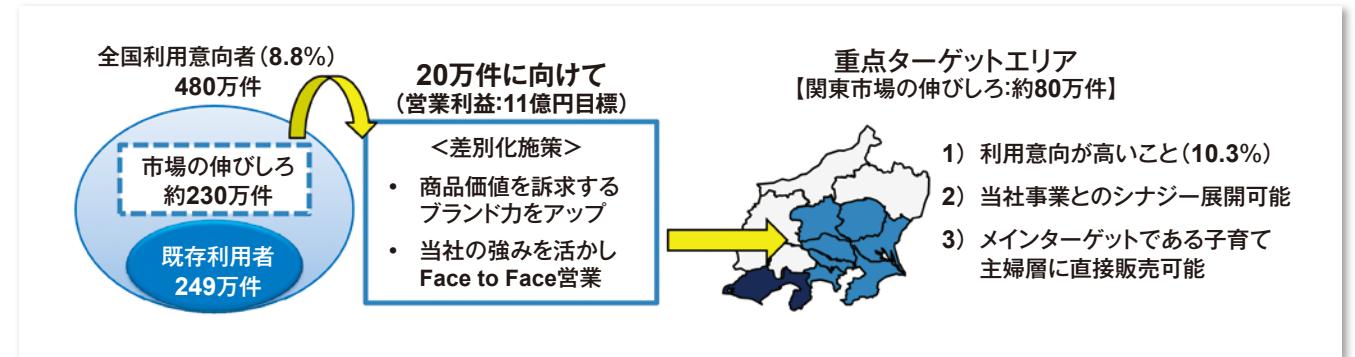
まさにこれから、大手通信事業者との本格的な競争を迎えますが、自社インフラであるFTTH網を活かし、独自の放送と通信を融合したサービスを提供することで、この競争に打ち勝っていきます。



■ アクア事業：関東ワンウェイを強化し、顧客件数20万件へ

今年7月、顧客件数10万件を突破しました。静岡県のリターナブル事業では顧客件数8万件(5.6%の普及率)を誇り、県内トップシェアです(2万件は全国向けワンウェイサービス)。また、リターナブル事業は収益モデルを確立し、営業黒字化を達成しました。

今後は高収益化を目指し、成長後期にある市場の伸びしろをスピーディーに獲得することが、最優先課題です。そのため、重点ターゲットエリアとして関東市場に注力します。市場のライフサイクルに注目し、商品価値を訴求するブランド力の強化、及び当社の強みを活かしたFace to Faceの営業を行うことで、20万件達成を目指します。



TOPICS 1 CATV事業における地域戦略

CATV事業では、今年4月より、その最大の強みである“地域との結びつき”の強化に注力しています。

例えば、地域情報を配信するコミュニティチャンネルにおいて、地域のニュースや、お祭り、学生スポーツの地方予選中継、幼稚園の運動会などを取り上げた地域市民参加型の番組や、静岡県浜松市出身のソプラノ歌手 西尾舞衣子さんをパーソナリティとして地元で活躍中のゲストを迎える「舞衣子の小部屋」などバラエティに富んだ地域番組を制作し、放送しています。



新番組「舞衣子の小部屋」

またその他にも、地域との関係強化の一環として、グループ会社の「ドリームウェーブ静岡」の社名を市民公募（応募総数899通）により「トコちゃんねる静岡」に変更しました。今後も、地域と一体となった取り組みを強化してまいります。



市民レポーターによるニュース配信

TOPICS 2 介護2施設が順調に稼働

2011（平成23）年4月より参入している介護事業では、最初にオープンしたデイサービス施設「リフレア清水駒越」（静岡市清水区）と、今年5月に開設したショートステイ施設「リフレア聖一色」（静岡市駿河区）が順調に稼働しています。

高齢化社会の進展とともに、介護サービスに対するニーズは着実に高まっており、こうしたニーズに応え、社会に貢献していきながら成長していくことが私たちの使命であると思えます。



リフレア清水駒越

今後も、消費者の生活に密着したサービスを次々と展開するTOKAIグループならではの付加サービスを持った施設運営を推進し、訪問介護から介護付有料老人ホームまで幅広い展開を図ってまいります。



リフレア聖一色

TOKAIグループの社会貢献活動

今年6月末に実施した株主様アンケートで社会貢献活動に対するご関心を多く寄せていただきましたので、現在当社グループが取り組んでいる主な活動を取り上げさせていただきます（アンケート結果はP11をご参照ください）。

■ 教育支援活動

■ TOKAIグループ奨学金

TOKAIグループでは、広く社会の発展に貢献する人材の育成を目的として、毎年、静岡県立大学及び静岡大学の学生を対象に、奨学金制度を実施しています。静岡県立大学は1991（平成3）年度から、静岡大学は2010（平成22）年度から実施しており、それぞれ毎年5名に奨学金を寄贈しています。



■ 文化貢献活動

■ TOKAIグループPRESENTS 県民参加の「歓喜の歌」第九コンサート

TOKAIグループでは、2010（平成22）年度より毎年12月に「歓喜の歌」第九コンサートを開催しています。これは、普段コンサートに足を運ぶ機会の少ない方々にも生のコーラスをお聞きいただくことで地域の芸術文化向上に寄与することを目的としています。2012（平成24）年度は12月23日（日）に静岡市清水文化会館（マリナート）大ホールにて開催予定です。ぜひご参加ください。



■ 社会福祉活動

■ ブケ東海沼津チャリティバザー

TOKAIグループは、2012（平成24）年5月19日～20日に、同年3月末に閉館した婚礼催事会場「ブケ東海沼津」で使用された食器類や備品のチャリティバザーを開催し、収益金（2,960,842円）を全額沼津市社会福祉課に寄付いたしました。



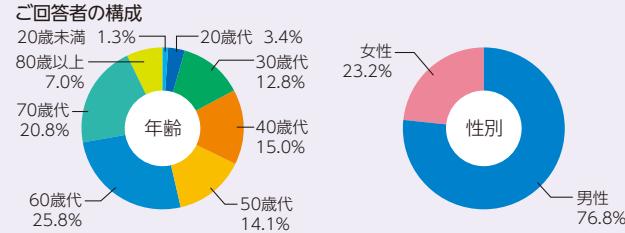
■ 環境保護活動

■ 海岸・防災林清掃活動

グループ会社の東海ガスでは、お客様との触れ合いと地球環境保護を目的として、2003（平成15）年から定期的に地域の海岸・防災林清掃活動を行っています。この中の防災林保護に対する活動が今年11月に開催された第36回全国育樹祭で評価され、森づくり活動に貢献した企業を表彰する「静岡県森づくり功労者表彰」を受賞いたしました。

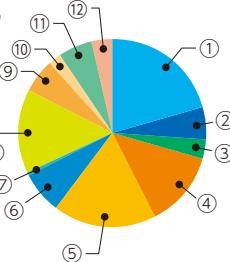


2012(平成24)年6月末の株主通信に同封しました「株主様アンケート」におきましては、814名(回答率10.4%)の株主様よりご回答をお寄せいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。頂戴した株主様の貴重なご意見・ご要望は、今後の経営やIR活動の参考にさせていただき所存です。ここで、主な集計結果についてご報告させていただきます。



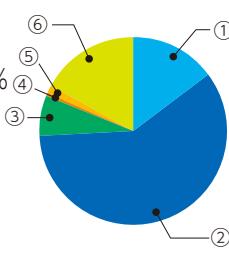
Q. 当社株式に投資された理由をお聞かせ下さい (3つまで)

- ① 事業内容 20.8%
- ② 経営方針 5.4%
- ③ 経営者の考え方 3.4%
- ④ 安定性 12.9%
- ⑤ 将来性 17.9%
- ⑥ 収益性 7.2%
- ⑦ 流動性 0.4%
- ⑧ 配当金 14.6%
- ⑨ 株主優待 5.7%
- ⑩ 知名度 2.4%
- ⑪ 地域・社会貢献度 5.6%
- ⑫ その他 3.6%



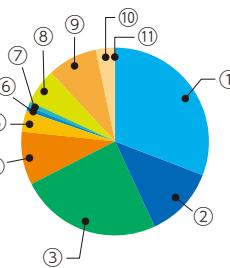
Q. 当社株式の今後の保有方針をお聞かせ下さい

- ① 買い増し 14.9%
- ② 長期保有(3年以上) 59.2%
- ③ 中期保有(1~3年未満) 7.1%
- ④ 短期(1年未満) 0.6%
- ⑤ 売却 1.4%
- ⑥ 未定 16.7%



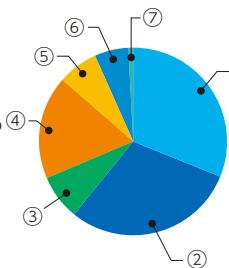
Q. 当グループのどの事業に特に期待されますか (3つまで)

- ① エネルギー 30.9%
- ② アクア 12.1%
- ③ 情報・通信 24.6%
- ④ CATV 9.0%
- ⑤ 建築・不動産 3.6%
- ⑥ ブライダル 0.9%
- ⑦ 保険 0.7%
- ⑧ セキュリティ 6.1%
- ⑨ 介護 8.8%
- ⑩ リフォーム 3.1%
- ⑪ その他 0.3%



Q. 当グループに今後特に期待することを (3つまで) お聞かせ下さい

- ① 業績の向上 31.2%
- ② 安定配当 29.8%
- ③ 地域・社会貢献 7.7%
- ④ 株主優待の充実 17.9%
- ⑤ 新規事業の創出 7.0%
- ⑥ エリア拡大 5.8%
- ⑦ その他 0.6%



Q. 当グループに対するご意見・ご要望をお聞かせ下さい

- ・アンケートを行い、「生の声」を幅広く集める。すごく大切に共感します。
- ・有利子負債の更なる圧縮を期待します。
- ・岡山市に新データセンターを構築し、グループ全体の事業を西日本へ拡大されることを期待しています。

- ・高齢化社会に備えて、ユニークな介護事業拡大に期待しています。
 - ・地域社会貢献への取り組みに期待しています。
 - ・引き続き安定配当を期待しています。
 - ・株主優待制度を今回新設したことを評価します。
- 今後も、株主の皆様とのより良いコミュニケーションの実現を目指し、定期的にアンケートを実施していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

▶ 株主優待制度について

当社では、株主の皆様への日頃の感謝をこめて年に2回株主優待を実施しております。

3月31日現在及び9月30日現在の株主名簿に記載された1単元株(100株)以上ご所有の株主様を対象に、ご所有株数に応じて下記の商品からお選びいただけます。

2012(平成24)年9月30日現在の対象となる株主様に対しては、2013(平成25)年1月中旬を目処にはがきにてどの商品を選択されるかご希望をとらせていただきます。詳細につきましては、ご案内状をご確認ください。

ご案内状の発送	2013年1月中旬(予定)
お申込受付開始	2013年1月中旬(予定)
お申込期限	2013年3月末日(予定)

	100~999株	1,000~4,999株	5,000株以上
A コース アクア商品	1,600円相当 ^{※3} 「朝霧のしずく」 ^{※1} 500ml ボトル ×12本 OR 「おいしい水の宅配便」 ^{※2} 12Lボトル ×1本	3,200円相当 ^{※3} 「朝霧のしずく」 ^{※1} 500ml ボトル ×24本 OR 「おいしい水の宅配便」 ^{※2} 12Lボトル ×2本	6,400円相当 ^{※3} 「朝霧のしずく」 ^{※1} 500ml ボトル ×48本 OR 「おいしい水の宅配便」 ^{※2} 12Lボトル ×4本
B コース QUOカード	500円分	1,500円分	2,500円分
C コース ヴォーシエル お食事券 ^{※4}	1,000円分	3,000円分	5,000円分

の、いずれか1つ

さらに、各コース共通で

グランディエールブuketーカイ、ブケ東海三島、ブケ東海御殿場共通

婚礼10%割引券 (割引上限10万円)

AND

ヴォーシエル

お食事20%割引券^{※4} (12枚つづり)

※1 富士山麓で採水される当社オリジナル天然水です。注目のミネラル成分「バナジウム」をはじめ、天然ミネラル成分がバランスよく溶け込んでいます。
 ※2 全国10万件のお客様にご愛飲いただいている飲料水宅配サービスです。いずれの商品も適用可能ですが、既にご契約いただいている商品に限ります(新規契約も可)。
 ※3 金額は「朝霧のしずくプレミアム」の価格をもとに試算しています。
 ※4 当社グループが静岡駅前ヌタワー最上階で運営しておりますスカイレストラン「ヴォーシエル(フレンチ)」でご利用いただけるお食事券またはお食事割引券です。

▶ 中間配当について

当社は「安定的かつ継続的配当」を基本方針としております。この方針に基づき、当期の中間配当金は1株当たり6円とさせていただきます。期末配当金も1株当たり6円とさせていただきます。これにより年間の普通配当は前期より1株当たり2円増配の12円とする予定です。



会社概要／グループ会社紹介

■ 会社の概要 (2012年9月30日現在)

会社名	株式会社 TOKAIホールディングス
設立	2011年4月1日
資本金	140億円
従業員	連結 3,947名
事業内容	エネルギー事業、情報通信事業等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
証券コード	3167
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

■ 役員 (2012年9月30日現在)

取締役

代表取締役社長 (CEO)	嶋田 勝彦
代表取締役専務執行役員	真室 孝教
取締役常務執行役員	村松 邦美
取締役常務執行役員	鈴木 光速
取締役常務執行役員	溝口 英嗣
取締役 (非常勤)	高橋 信吾
取締役 (非常勤)	村田 孝文
取締役 (非常勤)	福田 安広
取締役 (社外)	小林 憲一
取締役 (社外)	鈴木 健一郎

監査役

常勤監査役	望月 廣
監査役 (社外)	瀬下 明
監査役 (社外)	立石 健二
監査役 (社外)	雨貝 二郎

■ TOKAIグループ

株式会社TOKAIホールディングス

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

株式会社TOKAI

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

株式会社TOKAIコミュニケーションズ

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

東海ガス株式会社

静岡県焼津市塩津74-3

株式会社TOKAIケーブルネットワーク

静岡県沼津市寿町8-28

株式会社いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビ

千葉県市原市五井中央東2-23-18

厚木伊勢原ケーブルネットワーク株式会社

神奈川県厚木市岡田3050

株式会社イースト・コミュニケーションズ

千葉県千葉市緑区あすみが丘1-20-1

エルシーブイ株式会社

長野県諏訪市大字四賀821

株式会社倉敷ケーブルテレビ

岡山県倉敷市中島2661-1

株式会社トコちゃんねる静岡

静岡県静岡市清水区中之郷2-1-5

東海造船運輸株式会社

静岡県焼津市小川3899-4

株式会社ブケ東海三島

静岡県三島市梅名393-1

株式会社ブケ東海御殿場

静岡県御殿場市東田中1505-3

トーカシティサービス株式会社

静岡県静岡市葵区紺屋町17-1

TOKAIライフプラス株式会社

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

拓開(上海)商貿有限公司

上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心17階T-40号室

株主の状況 (2012年9月30日現在)

■ 株式の状況

会社が発行する株式の総数	300,000,000 株
発行済株式総数	155,199,977 株
1単元の株式数	100 株
株主数	10,508 名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	7,559,820	4.87%
東京海上日動火災保険株式会社	4,986,887	3.21%
鈴与商事株式会社	4,807,000	3.10%
株式会社静岡銀行	4,065,527	2.62%
三井住友信託銀行株式会社	3,816,000	2.46%
株式会社みずほ銀行	3,588,577	2.31%
TOKAIグループ従業員持株会	3,363,817	2.17%
アストモスエネルギー株式会社	2,724,848	1.76%
明治安田生命保険相互会社	2,599,389	1.67%
矢崎エナジーシステム株式会社	2,238,642	1.44%

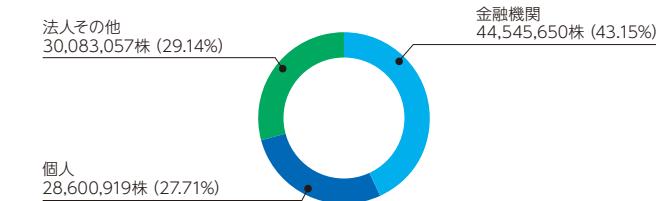
※この他に当社は自己株式51,970,351株を所存しております。

■ 株価の推移



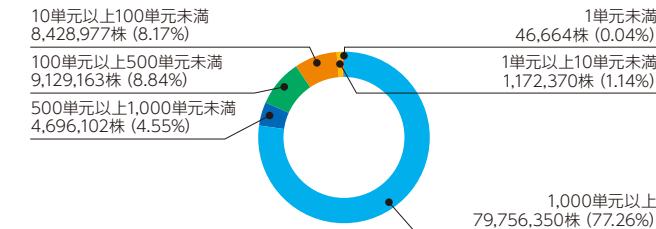
■ 株式分布状況

所有者別分布状況



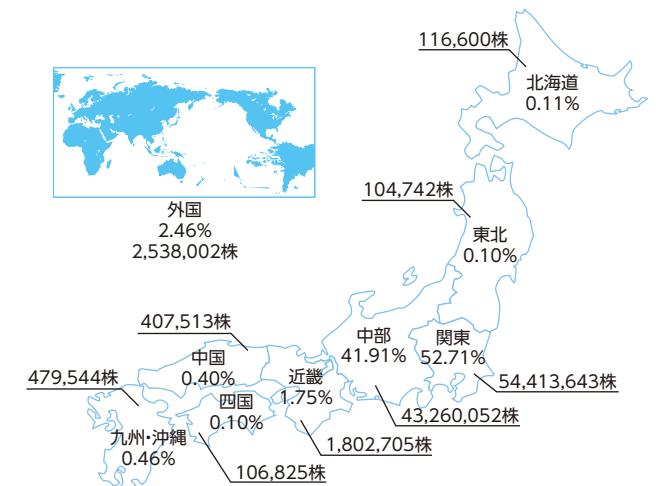
※自己名義株式51,970,351株は、所有者別分布状況から除かれております。

所有株式数別分布状況



※自己名義株式51,970,351株は、所有株式数別分布状況から除かれております。

■ 地域別株式分布状況



※自己名義株式51,970,351株は、地域別分布状況から除かれております。